

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い（3月22日～4月30日）

「感染症対応の目安」におけるステージ：注意（黄色）（令和3年3月19日時点）

○基本的な感染防止策の徹底等について

- （1）マスクの着用、3密の回避等を徹底してください。（2）接触確認アプリ「COCOA」をインストールしましょう。
- （3）感染者やその家族、医療従事者等に対し、誹謗中傷や差別的な行為を行わないようにしてください。

○事業者の皆さまへ

- （1）ガイドライン等に基づく感染防止対策（特に、従業員のマスク着用）を徹底していただくようお願いします。
- （2）特に、酒類を提供する飲食店の皆さまは、ガイドラインの遵守をお願いします。

1 外出について 自粛要請等はありません。基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

2 他県との往来について

- （1）旅行の際は、感染状況が落ち着いている地域を選び、混雑しない時期に、普段から接している仲間と楽しむようにしてください。
- （2）他県へ移動する際は、移動先の都道府県知事が出している要請やメッセージに沿って行動してください。
- （3）そうした対応が難しい場合には、旅行などでの移動は、慎重に検討してください。
- （4）発熱などの症状がある方や体調の悪い方は、他県との往来を控えてください。

3 会食について 以下の点に注意のうえでお楽しみください。

- （1）会話が主となる時間帯には、できる限りマスクの着用を励行するなど、飛沫感染の防止に努めてください。
- （2）特に、飲酒の場などでの「献杯・返杯」や「大声での会話」、「マスクを外してのカラオケ」など、感染リスクの高い行動は、控えるようお願いします。
- （3）年度替わりに行う「歓送迎会」、「花見」等における飲食の場では、（1）、（2）の対策を徹底してください。
※ 旅館やホテルで大人数の宴会を行う場合の注意点については、別紙「旅館・ホテル宴会場 ウィズコロナにおけるニューノーマル 土佐のおきゃく八策」もご確認ください。

4 イベント等について 開催にあたっては、以下の点に注意したうえで、業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底してください。

- （1）人数の上限
・大声での歓声や声援等が想定されないイベント等（クラシック音楽コンサート、式典、展示会等）：収容率 100%
・大声での歓声や声援等が想定されるイベント等（ロック・ポップコンサート、スポーツイベント等）：収容率 50%
（5名以内の同一グループでは座席等の間隔を設けなくてもよい。その場合、収容率が50%を超えても可。）
- （2）全国的な移動を伴うイベントや、参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催については、事前に県に相談してください。

5 県立施設について 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底したうえで、通常どおり開館しています。



利用者側

- 一策** 入店時のマスク着用、
手指のアルコール消毒の徹底
- 二策** 体温、体調チェックの徹底
本人に発熱や体調不良があるときはもちろん、同居の家族等にそうした状態の人がいる場合は勇気を持って参加しない
- 三策** 会食開始後しばらく食事に専念
例えば30～40分は食事を楽しむ
- 四策** 会食中の飛沫防止対策の徹底
会話をする際には、大声を避ける、マスク着用など
- 五策** 会食場の入退室時の感染防止対策
席を立つ時や、部屋を出る際にはマスクを着用、戻る際には手指のアルコール消毒の徹底（トイレ等や会食場を移る時も）
- 六策** 献杯、返杯はしない
- 七策** 会食場でのカラオケ利用は控える
- 八策** 極力小グループ、会場分散型での開催、
2時間以内に努める

施設側

- 一策** 入口等にアルコール消毒液、
体温測定器を設置
- 二策** 従業員の衛生、体調管理を徹底し、
必ずマスクを着用
- 三策** 早めの食事提供
安全に食事と会話の両方を楽しんでもらうため、お断りのうえ食事は 早めに提供し終えるよう努める
- 四策** 小規模・分散型の宴会場の提案
従来の定員スペースよりもゆとりをもった会食場の準備、難しい場合は予約の際に小グループに分かれることも主催者側へ提案
- 五策** 飛沫感染防止対策を考慮した
配席の工夫
違うグループ同士が近接しないレイアウトの工夫、間仕切り等の設置
- 六策** 大皿料理となる場合の工夫
接客係が取り分けたり、多めの取り箸や小皿を準備
- 七策** 会食場でのカラオケ利用の自粛要請
必要な場合は、1回毎に必ずマイクを消毒するなど、最大限の注意を
- 八策** 会食場の消毒・換気の徹底
拭き取り消毒、空気清浄機の設置、定期的な窓の開放による換気

高知県内のワクチン接種スケジュール（想定）

R3.3.18 時点

※ 対象人数については、2/18時点

接種順位 (対象者)	調整 主体	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
①医療従事者等 【先行接種】	国	1回目 2/19～、2回目 3/12～ 約 380 人 健康状況調査 (調査結果は毎週公表【国])							
②医療従事者等 【優先接種】	県		1回目 3/8～ 約 3 万人						
			ワクチン 計28箱 13,650人分	計24箱 14,040人分	※ 5月前半までに全量供給の見込み				
③高齢者 (65歳以上)	市町村		接種券 発行		約 24.6 万人				
			ワクチン 計56箱 27,300人分	数量 未定	※ 6月末までに全量供給の見込み				
④基礎疾患の ある方	市町村					接種券 発行	【推計】 約 4.3 万人		
⑤高齢者施設等 の従事者	市町村		接種券 発行		【推計】 約 1 万人				
⑥その他 一般の方 (16歳以上)	市町村					接種券 発行	約 30 万人		

高知県への国からの供給量（4月分）：合計56箱（予定）

県内各市町村への4月配分の考え方

① 4月中に全市町村に配分（原則1箱以上）

※ 5町村で構成される中芸広域連合（計3箱）、大川村と本山町の連携（計1箱）など広域的な接種体制を構築する一部の自治体においては相当分

② 上記を踏まえた上で、高齢者人口による傾斜配分

③ 具体的な配分スケジュールは、各市町村の接種計画等に沿って調整

※ 各市町村への事前アンケートに基づき調整

県内各市町村への高齢者向けワクチンの配分について ②

R3.4月分

<各市町村への配分スケジュール> 高知県への4月分の供給は、県内高齢者人口の11%程度 (2.7万人/24.6万人)

供給時期	国からの供給量	配分先	
4/5の週	2箱 (975人分×2回)	高知市、土佐市	各1箱
4/12の週	10箱 (4,875人分×2回)	東洋町、室戸市、安芸市、高知市、本山町 (大川村分含む) 土佐町、仁淀川町、須崎市、宿毛市、大月町	各1箱
4/19の週	10箱 (4,875人分×2回)	芸西村、香南市、香美市、南国市、高知市、梶原町、四万十町 四万十市、土佐清水市、三原村	各1箱
4/26の週	34箱 (予定) (16,575人分×2回)	高知市 【12箱】 中芸広域連合 【3箱】 南国市 【2箱】 いの町 【2箱】	安芸市、香南市、香美市、大豊町 土佐市、日高村、佐川町、越知町 須崎市、中土佐町、津野町、四万十町 黒潮町、四万十市、宿毛市 各1箱

合計：56箱 (予定)
(27,300人分×2回)

【参考】市町村別配分量

高知市 (15)、南国市 (3)、安芸市 (2)、香南市 (2)、香美市 (2)、土佐市 (2)、いの町 (2)
須崎市 (2)、四万十町 (2)、四万十市 (2)、宿毛市 (2)

※ 中芸広域連合は5自治体分として計3箱、本山町は大川村分を含み計1箱、その他は各1箱
(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)

- ・ 高齢者向けワクチンについては、6月末までに全ての高齢者が2回接種できる量が国から供給される見込。
- ・ なお、3/12河野大臣会見において、「5/9までに全国で4,000箱を上限に供給する (※)」との意向が示されたが、3/12時点で高知県への具体的な供給量は未定。

※ 4,000箱=約390万回分、2回接種で約195万人分